

# 「生物生態・体系学特論 III」レポート課題

【課題1】事物の多様性を「体系化」するために「分類」と「系統」というふたつの異なる基本方針があります。種や分類群の実在性を重視する立場と系統関係のより正確な推定を重視する立場では見解が異なるでしょう。パターン認識としての分類学的体系化と歴史推論としての系統学的体系化は多様性を理解する上でどのような相互関係にあればよいと考えられるでしょうか。また、現代の体系学では、一方ではより精緻な統計学の理論と方法論が求められ、他方では基本概念や理論の基礎をめぐって科学哲学上の議論が続いています。研究を進める上での実践的なツールを使いこなすことと、その背後にある概念的な問題に関心をもつことをどのように両立していけばいいのでしょうか。

【課題2】今回の集中講義は新型コロナウイルス流行をふまえ急遽オンライン開講となったため、受講生のみなさんにはいろいろご不便をおかけしました。講義の感想と改善点について書いていただければ今後の参考にさせていただきます。

---

【提出締切】2020年11月30日(月) 23:59:59

【提出方法】三中 (minaka@affrc.go.jp) までメール添付ファイルとして提出してください。ファイル形式は pdf とします。レポートが届いた場合は受領メールを返信します。

---